

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日: 2025年12月20日

事業所名: 放課後等デイサービス こぱんはうすさくら東久留米前沢教室

対象人数(保護者)36人 回答者数 24人 回収 66.7%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見を踏ました対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	4	1	
	②	職員の配置数は適切であると思いますか。	15	8	1	適切である
	③	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	5		お教室は大きな段差がない。外の出入り口は段差がある
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	21	3		見晴らしの良いお教室になっている
適切な支援の提供	⑤	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17	7		
	⑥	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22	2		
	⑦	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	23	1		
	⑧	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	23	1		
	⑨	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21	3		
	⑩	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21	3		季節に合わせた活動に取り組んでいる
	⑪	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	10	4	10	事前に計画を立てて取り組めるようにしていきます。
	⑫	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	24			
	⑬	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23	1		
	⑭	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	6	8	家族も一緒に参加できる研修は実現できていない
保護者への説明等	⑮	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができると思っていますか。	19	5		
	⑯	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21	3		
	⑰	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21	3		
	⑱	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	9	9	見学会やお話し会など年に2回くらい午前中の時間を使ってできると職員との交流に繋がると思うので検討したい
	⑲	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	5		
	⑳	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20	4		
	㉑	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	21	3		
	㉒	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22	2		

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見を踏ました対応
非常時等の対応	㉓	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21	3		
	㉔	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	23	1		
	㉕	事業所により、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	22	2		
	㉖	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21	3		
満足度	㉗	子どもは安心感をもって通所していますか。	24			
	㉘	子どもは通所を楽しみにしていますか。	22	2		声かけに工夫しながらトラブルを解決に努めています
	㉙	事業所の支援に満足していますか。	20	4		職員体制には努力していきます

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	こばんはうすさくら東久留米前沢教室	公表日	2025年12月20日		
環境 ・ 体 制 整 備	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	2	広々としている	児童が手を伸ばすと鍵を開けることが出来てしまう場所のある同じく電気のスイッチも届いてしまうのでカバーをかけたが効果なし
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	4	シフト制で完成を早めに仕上げ、活動に応じて人数を配置している	公休希望が重なってしまう時があるので変更できるかの提案を早めている 児童の把握ができている職員が少ない日もある
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	1	空間は分けるよう努力している児童のコンディションにより空間を分けている	活動により分けることが教室内で出来ない クールダウンが難しい 会議室・静養室の上部の壁が筒抜けで聞こえてしまう
業務 改 善	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	2		静養室をしっかり休める環境をつくってあげたい
	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	1	振り返りを重ねて意見を出し合っている。	同じ職員ばかりの意見ではなく参加している職員全員が意見を出しあうようにしている
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		保護者様との面談や送迎で直接話す機会を作っている	保護者様からの意見はすぐに上司に伝え検討改善・報告をするように努めている
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	定期的な面談をしている	計画的な面談の日程を前以て伝え意見をまとめておくように話すが条上部の壁が筒抜けの構造のため環境設定が重要
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	6	実施していないが本社に提案をしたことがある	実施していない
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		BCPのほかに職員が受けたい研修を聞き取り実践につなげている	毎日休みなく稼働していることにより、職員全員が一緒に集まり訓練や研修をするタイミングを作ることが難しい

適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	1	現場の意見も聞き取り優先課題を話し合う会議を設けている	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	1	共有できている時とできてない時がある	職員の支援に対する意欲の情熱差の違いや出勤の回数により把握できていない職員もいるので連絡ノートなど使用し共有するようにしている
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	2		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9			学校や地域ともっと関わるようになしたい
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	3	他の職員にも期日を設けて提案するよう促しています	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	1	固定する目的がある物はそのままプログラムに取り入れています	季節に応じた新しいことを提案していく
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	1	振り返りを重ねて意見を出し合っている。	参加できなかった職員も日誌を必ず使用し、気づいた点を記載して目を通すようにしている
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		HUGを使用し、活動の記録を保護者様に写真付きで送っている	写真を添付できない日もあるので、口頭で送迎時に様子を伝えるようにしている
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		年に2回聞き取りをしているほか、成長とともに見直しをしている	こまめに日々の成長と目標を本人や保護者様、指導員と確認しあうのも同じ職員からの意見が多い
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	9			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9		意思決定は選択制を行っている	

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9		学校からも行事や下校の時間のお便りをもらい確認しあっています	時間を間違えることがあり、児童を待たせてしまう時があるので、朝礼で確認しあっている
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9		求められたときは行っている	個人情報の取り扱いには気をつけている
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	7	2	長期休みや活動時間が長い時は外出レクで実施している	配置や運転職員が不足し外出できないこともある
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	6	参加できるときはしている	もっと機会を持てるようにしていきたい
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		行っている	保護者様と前以て時間や日程を打合せして個々の課題の悩みも受け入れ相談にのっている
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレンツ・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	2		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		ガイドラインの読み合わせをしたときに説明を行っている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9		得ています	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		午後からの活動の前に、午前中の時間で支援しています	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	3	送迎時に保護者と共有している	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		留意しています	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	4		

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		本年度は引き渡し訓練を全児童と保護者さまに実施	職員の帰宅困難については課題である
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9		アセスメントのとりなおし、服薬情報などを保護者様にもらい個人ファイルにはさんでいる	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		しています	エピペン研修を定期的に実施し、アナフィラキシーについてもっと知ることが必要
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		上半期・下半期に分けて集計し、分析をして職員に回覧、または会議で議題にあげ報告している	報告書の提出が職員によりおそらく共有が遅くなってしまう時がある
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		研修は必ず行っている	虐待の芽やストレスチェックを定期的に行なう
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9			